

自助の時代

理事長 田中 稔

今年の正月は、暖かい良い日和でした。例年元旦に決まった神社にお参りをしていたのですが、今年には朝方の雨天のせいもあって土曜日の6日に出掛けました。人も少なくゆっくりとお参りが出来ました。長男も手を清め、ちゃんと柏手を打って頭を下げていました。もともと、歓喜の奇声を出して見えたので神主さんが変な顔をして見ておられました。


神社には、一九八〇年代からの長期の好景気でお賽銭が多かったと聞きます。一方、この長期の好景気は様々な社会的な歪みも生み出しました。その最もたるものが資産インフレ（気遣いじみた土地の高騰）と人手不足（人件費の高騰）です。これらのしわ寄せが医療と福祉により強く出て来ています。

今、熊本でもちょっとした土地は坪60〜100万はします。例えば200坪の土地に建物を建築し、設備を入れると約5億はかかります。15年返済ですと利子との総額で10億になってしまいます。現在の医療制度、税制度の中では一日中沢山の患者さんを診ても容易ではありません。加えて医療従事者の絶対数の不足と人件費の上昇、質の低下があります。大都会では閉院する所さえ出ています。

新規の開業は益々困難になり、世襲か法人化か会社組織か特殊な形でしか存在しにくくなってきている現状です。

福祉施設も同様です。個人で作

たんほほ



NO.44
H3.1.31
—発行—
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

るにしろグループで作るにしろ土地の確保は益々困難です。こういう厳しい状況の中で、障害児を持つ親は自分が健康である内に、自分が高齢化して障害者の仲間入りをする前に子供がなんとか安心して療育出来る場、生活出来る場を作っておきたいと必死に頑張っています。

昨秋、複数の親達が施設を作られた福岡の「志摩学園」を当園の保護者会で見学交流されました。「自閉症」という障害全体から見れば病院も更生施設も作業所もグループホームもその様な色々な受け皿がある事が望まれます。しかし、今後これらの受け皿を「他人」が用意してくれるという事は望めません。子供達に必要な事の為に、親自らが参加し負担し行動する事が求められている時代です。



療育シリーズ

おあがり

園長 土井尚典

保護者会の草取り作業で、あるお父さんがお子さんの名前の入ったジャージと靴を履いて作業をしていらっしやう。「お子さんと共用ですね？」と話し掛けると、「いや違いますよ。息子のおさがりですよ。息子の方が大きくなって着られなくなって、親父の方がおさがりを貰っているんです。まーいわば『おあがり』です。まだ着れるので親父はおあがりを貰って、新しいのは買って貰えませんが」とのことであった。周りにいた他の保護者の方も本当にそうだそうだと感心？されていたようだ。靴とジャージにはマジックで、名前がかでかと、「○○○○」と漢字で書いてあった。名前とお父さんを見比べながら、おきのどくやらおかしいやらで私も感心？してしまった。こんなに大きく書く

と人に上げようにも上げられず捨てるにはもったいないのでお父さんに辛抱のしわよせが来ておるのだなと思つた。

他の園生の履物を見てみると靴を履いた状態で名前が見える状態に書いてあるものとそうでないものがあるようだ。衣類には着た状態で見えるものは上着やズボンにはない。指導員に「名前は何の為に書くのかな？」と尋ねてみた。

「衣類は洗濯仕分けの時、名前がないと困るけど靴はネー。園生が靴を間違える事はないからですね。靴の左右は間違えることはありますけど。本人にはあまり意味がありませんね」。どうやら名前を持つ物に書くのは本人の為より人のためにあるらしい。それならば、名前にはちよつと注意すれば気が付くところを書いての方がお洒落のように思われる。

千葉県のみすみ学園の指導員が三気の里に來られたときに「大人として処遇する。年齢相応に処遇

する」ことを助言して戴いた。服装、髪形、言葉づかいからはじまり作業指導内容、人権などその人の生きた年令と日本の文化に合わせて行く事も大切な要素なのだろう。本人の能力ばかり気にして、その人の年令にあった生活・作業（仕事）・生き方を絶えず考慮していないと、その人が社会の中で普通の人として存在していることを忘れてしまい、万事に互って障害者として接してしまう事になるのだろう。

中学生や高校生に、靴の表にかでかと名前の書いた靴を履かせようとしても履かないだろう。年齢相応の恥ずかしさを本人が察知できなければ、代わりに察知して行くことが必要であろう。息子のおさがりを着て草取りをしたお父さんもそのことはご存じである。ものを大切にする気持ちと三気の里での草取り作業ならではの服装であろう。



成人式

桜木房江

童顔で動作も幼さばかりの信之が、今日で成人式とは、親の私達さえつい疑ってしまいそうです。15日朝、『成人式だけんピシャとせなんね』と言って園へ出掛けたが、果たして無事式に参加出来るのだろうかと心配しながら、服装を整えさせると、みんなから『かっこいい』『おめでと〜』と嬉しい言葉。準備OKで園長先生、担任の先生、成人する園生それに父兄とで、大津町の成人式場へと出発。心配していた式が立派な態度で済み、ほっとして、同席の新人成人を見ると同年の人かと目を見張り、つい子供と比較し胸が痛みます。子供の節目にいつも痛感する将来への不安感で一杯の私でしたが温かい園の心づかいで有意義な一日でした。信之君成人おめでと〜。



新年会△△



高橋千草

平成3年1月3日、冬季帰宅期間中に新年会を行いました。

たこ作り、たこあげ、近くの神社参拝、ぜんざいを食べる事を計画したところ、18名の参加がありました。

潔君は、若宮神社に初詣でに行つて鈴を鳴らし、お賽銭をあげてお願い事をしたし、一章君と俊ちゃんはずんざいに舌鼓を打ち、俊ちゃんなんかお父さんとお母さんの分も食べていました。新ちゃんは、毎年車の中から降りてこないのに、車から降りて来て玄関でみんなに新年の挨拶をしてくれました。歯磨き指導でお世話になっている森さんは甥子さんを連れて一生懸命たこを作ってくれました。

新年会に参加して下さった方々ありがとうございました。来年もお待ちしております。

食堂営業中

『おいしかったぜんざい』

1月3日は、三気の里の初顔合わせ(新年会)でした。この日は午前中たこ作り、神社参拝、そして午後からぜんざいを食べるという日程でした。私は朝から、ぜんざい作りに没頭していました。白玉粉を丸めてお鍋にポンポン入れ、さあ出来上がるぞという時間になったけど、誰一人遊びに来ませんでした。少しすると、大きな声がありました。『潔君だ!』と喜びました。それから歯科衛生士の森さんと甥子さんに、園生の一章君、俊ちゃんが遊びに来ました。新ちゃんは、ちらつと顔を見せただけで、すぐ車に乗ってしまいました。ぜんざいを食べる時のみんなの顔は、うれしそうで、苦戦して作った甲斐がありました。予定していた人数よりは少なかつたけど、とても楽しい一日でした。

長友

2班 寒くても草取り大好き？

『おかえりなさい。』職員の声に、みんなそれぞれのお家で年末年始を楽しく過ごしてきたのでしょう。ふっくらとしたほっぺに笑顔を浮かべて帰園してきました。

8日（火）より作業を開始し、午前中は廊下やたんぼぼの部屋を汽車拭きしたり、お風呂場を磨いたりします。ただし、寒いのでバケツの水はお湯が入り、お風呂場はボイラーのお湯で暖かくして掃除しています。午後は、みんなの要望によって草取りをしています。職員はのんびりとドライブしたり神社参拝を計画しているのですが、みんなはお昼ご飯を食べると、作業服に着替え（ジャンパーを着て軍手、軍足をはめて）待っているのです、鼻水をたらしながら、草取り頑張っています。

高橋

3班 寒い寒い山作業

新しい年になり、気持ちを新たにして作業に取り組んでいる3班です。『寒い！』『寒い！』と言っている職員の横では、みんなが黙々と作業をしています。現在は、木工と底冷えのする作業棟の中で紙ちぎりをしています。もうすぐ山作業が始まります。阿蘇での山作業は、ちょっとやそっとの寒さではありません。そこで、3班では新しく山作業用のジャンパーを購入しました。見た目はちょっと変ですが、とても暖かいジャンパーです。これをみんなを着れば立派な山男です。寒い寒い山作業を頑張ると、暖くなる頃には、すてきな製品が出来ている事でしょう。今年も3班のメンバーと共に3班製品をよろしく願います。

今村

5班 オー寒ぶ！

大寒も過ぎ、阿蘇おろしが身にしみて、外での作業も大変辛い季節がやって来ました。

5班では、現在、三気の里のグラウンドの周囲に生えている、桧の枝払いを中心にしています。寒い外での作業、自然と鼻の下に流れる白糸は滝にあらず。思わず、「辰つぁん、温泉いこか！」「松島さん、カラオケ行って、歌おうか！」と声をかけてあげたくなります。すると、辰つぁんも松島さんも、私もニコッ。“さあ、早いとこ片付けよ”と頑張っています。

先日、どんどやが行われましたが、立派などんどやが出来ました。毎日コツコツ枝払いをして作ったんですよ。

春が恋しいですね！。

坂井



1 班 焚火と...

室内作業を得意とする1班。寒い冬は、外に1歩踏み出すだけでもツ、ツライ！しかし、寒さなんかには負けられないと覚悟を決めて、畑の大根やアスパラガスのお世話をしに外に出る日もあるのです。そんな日の楽しみは何といっても焚火。竹や木を皆で集めて火をつけると、そこはもう天国。秋に収穫したさつま芋を火の中にほうり込むと、もう二重の喜びです。燃えそうな程火に近づく武ちゃん、泰ちゃん。煙と戯れる聡ちゃん。お芋を見詰めるみっちゃん、憲ちゃん。のんびり火にあたる宣陽さん、潔君、りえちゃん、勝ちゃん、肇君。枯れ葉を集めまくる忠ちゃん。皆それぞれに焚火を楽しんでいます。でも、本当に嬉しそうな顔をしているのは、お芋を手にした時みたい？ 平川

4 班 新風に刺激されて

4 班には、新年早々新しい友達が加わりました。ちょっと遠いけど宮崎の延岡からやって来た由布子ちゃんです。その由布子ちゃんの紹介を含めて4 班の現在の様子をお知らせします。由布子ちゃんはやっとお正月気分の抜け切れた1月14日に三気の里の一員に加わりました。初日は不安なこともあってか余り落ち着けずにいましたが、翌日からはずっと以前からいたような素振りで、職員室での姿も良く馴染んでいました。そんな由布子ちゃんに負けじとばかりに先輩格の12名の園生も一段と張り切っています。今年になって“これまでの念願”であった無人販売所をすでに設置することができたし、堆肥置き場も砂利が敷き詰められあとはコンクリを打つばかりとなりました。そのほかにも畑の拡張のための土のう作り、と言った具合に本来の農耕からは少し離れて土木作業に熱中しています。寒い冬にはこれが一番です！こたつで丸くなっている皆さん、園生のみんなと一緒に体を動かして温もりましょう。今年も4班（三気の里）はやります。見逃さないようにしっかり見守っていて下さい。 木下

どんとや

橋本加代子

新しい年を迎え、今年もみんなが無病息災で過ごせます様に、1月17日午後より運動場にてどんとやを行いました。

『点火』の合図と共に、どんと

やに火が放たれると火の凄さにびっくりしたのかみんな身動きもせず、大きな炎を見守っていました。火が下火になりそれぞれ竹にお団子をさして焼くと、中にはお団子を火の中に落としたり、真っ黒焦げになったりする人も。しかし、どの顔もおいしいお団子を食べる事が出来満足そうでした。

どんとやを組み立ててくれた4班、5班のみんな、又朝からお団子を作ってくれた厨房さんどうもありがとうございます。今年も1年みんな元気で過ごせそうです。



愛護施設見学研修

坂本信子

「血液型はなんですか？」
多良木学園を見学の時だった。長い列をつくった県下の施設職員とその一番後ろの方から、次第に近づく元気な女の子の声があった。「まさか、百人ちかくの職員全員に聞くのかな？」

その「まさか」であった。あれよという間に彼女は全員を聞き終えてしまった。また、驚く事には、その殆どを多分、覚えてしまっているだろうということだった。

直ちゃんと呼ばれていたその女の子は、笑顔がとても印象的だった。

私と、橋本指導員との一泊二日のこの研修は、なかなか、そういった出会いの多いものとなった。

例えば、この後つつじヶ丘学園、希望ヶ丘学園、第二つつじヶ丘学園と、計四ヶ所を回ることになるが、子ども達の人懐っこい顔、驚いた顔、元気な顔、又、指導員の

人の、熱心に説明をされる顔、等々がおもいをかすめる。

ある施設だった。作業風景を見せていただいた時、一人の、分厚いダンボール箱に、熱心に針を刺していた男の園生の方が目についた。近くまでより、手元をじっと覗きこむ。すると、(作業を続けながら)「俺あ、そがんみらるっ」と恥ずかしか・・・ばってん、嬉しいです！」

そう言って笑った顔は、とても誇らしげで、しばらく忘れられそうにないものだった。



ぼらんていあ通信

さあ、新しい年になりました！
皆さん、風邪などひかずお元気で
しょうか？今年も新しい出会い、
楽しい出会い、素敵な出会い、等
々・・・etc、職員一同恋い焦
がれてお待ちしております。どし
どしおいでませ。

さて、今年最初のV O学習会を、
二月十一日(月) 18時(PM1時)
3時)に行います。テーマは『集
中力』で、三気の里の療育主任の
坂井!・・の独壇場です。乞うご
期待!

- ポランティアありがとう
- 森隆子さん(歯磨き指導)
- 坂本シマコさん(散髪)
- 谷山づぐよさん(散髪)
- 遠山かずえさん(掃除)
- 天使園の皆さん



気になる

栄養の話題

『欠食は肥満のもと!』

段々と寒さが増してきました。

寒いからといって、朝は出勤する
ギリギリまで寝ていて、朝食は抜
いて来るといふ人も少なくはない
でしょう。健康を保つには栄養の
バランスのとれた規則正しい食事
をとる事が大切です。特に朝食を
必ずとる、三食のうち一食抜いた
からといって影響はないだろうと
思いがちですが、朝は一日のスタ
ート。食事をしないという事は、
その日の栄養量が不足しますし、
家事や仕事に必要なスタミナの維
持も難しくなってきました。また、
眠っている間は、何も食べていな
かったのですから、朝、体は何か
を食べたいはず。それなのに
何も与えられないと、体は次の食
事からエネルギーを保存の効く脂
肪の形で蓄える様になってきます。
こうなるので、これが肥満の原因

となります。

今からは、まだまだ寒い日が続
きます。風邪をひかない様に、寒
い冬を乗り越えましょう。長友

『たんぼぼ市場』開店のお知らせ

4班)

1月19日(土) 4班ではかねて
から準備を進めていた無人販売所
『たんぼぼ市場』を、デンペン工
場跡地バス停の所に開設致しまし
た。

これまでは、園内でご父兄の皆
様方中心にお買い上げ頂いていた
野菜が周辺の一般の方々の方々の食卓に
ものぼる事になります。新鮮でお
いしい野菜を途切れる事なく、供
給出来る様頑張りしますので今後と
もよろしくお願い申し上げます。
又、紙面を借りまして場所を貸
して下さいました中陣内の吉田国
幹様に御礼を申し上げます。

4班園生、職員一同



2月の行事予定

1(金)	11(月) ①v o学習会	21(木) 4班レク
2(土) シーツ交換	12(火)	22(金) 大掃除
3(日)	13(水)	23(土)
4(月)	14(木) 1班レク 誕生会	24(日)
5(火)	15(金) 防災訓練	25(月)
6(水) 体重測定	16(土) シーツ交換	26(火)
7(木) 3班レク	17(日)	27(水)
8(金)	18(月)	28(木) 2班レク
9(土) 帰宅日 保護者会	19(火)	
10(日)	20(水)	

※2~3日九州・山口地区自閉症研究協議会 ※第1・3土曜日療育相談日

◎ 後援協会云だより

一九九一年のスタートです。

今年もよろしくお願いいたします。

かき寄付の紹介

大村 健一様

◎ おじいさまがお亡くなりになられたそうです。お心づかいで十萬のご寄付をいただきました。

大森ルーテル教会

教会学校生徒一同様

◎ 生徒の皆さんのご協力により、25785円のご寄付をいただきました。

ありがとうございます。

ございました。



やろう会二月の日程

7(木) 森川・中村み・竹下

9(土) 神沢・渡辺し・中村き
有馬・安部

14(木) 林・井口・高木

21(木) 村上・満塩・島津

28(木) 坂田・伊石・甲斐

いつも、お手伝い御苦労様です。

編集後記

《田辺さん、ごめんなさい》

毎回、たんぼぼを作る度にできる限り、読者の皆様はじめ関係各位様にご迷惑の掛からないよう気を付けておりますが、大きな間違いをしておりました。

と、言うのは前回の班ニュースで1班のところを書いてくれたのは(伊石)指導員ではなくて、(田辺)指導員でした。実は私、原稿が出来上がるのを見ていたにも拘わらず、ワープロに打つときには、指が別の人の名を……。本当にごめんなさい。

それから、今回もたんぼぼを読んでくださってありがとうございます。浮